

令和5年度 2月号

めいか

令和6年1月31日

文京区立明化幼稚園

チャレンジする楽しさ

主任 今村 久美子

寒い日も多かった1月。子どもたちは学年ごとに明化小学校のプール広場や第十中学校の校庭をお借りして凧揚げを楽しみました。自分で作った凧を持って広い場で走り、大喜びでした。快く場を貸して下さっている近隣の小中学校の方々に、感謝申し上げます。

今、年長組の子どもたちは、コマ回しを繰り返し楽しんでます。12月にコマを手にした時は、紐を巻くこと、回すことにひと苦労でした。紐を巻く時の力加減や左巻きか右巻きか、そして投げ方など、自分なりのやり方を繰り返し取り組む中で見出していきました。午後のひと時にコマ回しチャレンジタイムを作り、友達と一緒に回したり、競ったりする楽しさを繰り返し味わいました。さらに誕生会で先生がコマの技を見せてくれたこともきっかけの一つとなり、フープの中や机の上で回すなどの難しい技にもチャレンジし始める姿がありました。「狭いところに入れるのが難しいんだよ…」と言いながらねらいを定めて投げることに何度もチャレンジし、友達の姿を見ては「そうか、ああいうふうにやってみよう」とやり方を工夫していました。成功すると「やったぁ！見て見て！」と大喜び。「すごいね！」と友達に認めてもらい嬉しさもひとしおです。1月末には先生の前でコマの技ができればサインをもらえる“チャレンジカード”を使い、一人一人が自分のめあてに向かう姿が見られています。

このように年長組の子どもたちが友達と刺激を受け合い、学び合い、認め合いながら、楽しんで自分のめあてに向かっていく姿は、小学校での“学びに向かう力”につながるものです。そしてそれは、年長組の一年間だけで育まれるものではありません。友達のしていることを“自分もやってみたい”とまねして楽しむ年少組。なわとびにチャレンジして少しずつ「今日は〇回跳べた！」という喜びを重ねている年中組。そのような年少組、年中組の時の経験の積み重ねが、年長組の姿につながっていくのです。

さて、1月末には年少組と年中組の発表会がありました。12月の年長組の発表会を見て憧れの気持ちを持ち、お家の方にも見てもらうことを楽しみに、張り切って劇遊びや音楽表現活動に取り組んだ年少組と年中組の子どもたちでした。保護者の皆様にも、そのような保育活動の一端を見ていただく中で、お子さんの成長を感じていただけたら幸いです。



友だちと一緒にスズを鳴らして、楽しいね（年少組）



なわとび 跳べるよ、うれしいね（年中組）



枠の中でコマを回したい！何度もチャレンジ（年長組）